

【2022年10月期および2023年4月期 佐藤陽国際奨学財団奨学生 募集概要】

注意：これは最低限必要なことがらだけを抜き出した概要です。

必ず財団が作成した書類もよく読んでください。

● 応募資格 ●

次の全てに当てはまること。

1. バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムのいずれかから来日し、日本国籍を持っていない。
2. 2022年10月時点で、岩手大学の学部または大学院に正規生として在籍する私費留学生である。  
もしくは、2022年10月または2023年4月に岩手大学の学部または大学院に正規生として入学することが決まっている私費留学生である。
3. 奨学金を受給し始める時点で、他の団体等からの奨学金を受けていない。
4. 在留資格が「留学」である。
5. 日本で就業している親がない。
6. 「博士」の学位を取得していない。
7. 課程の在籍期間が奨学金の支給開始時期より1年以上ある。
8. 勉学・研究において、日本語で問題なくコミュニケーションがとれる。  
*Students who have command of Japanese for study and research.*
9. 奨学金の受給中及び受給終了後、財団の交流活動に協力できる。  
受給中は、主に東京で開催される交流会に年6回参加することが求められます。

● 奨学金の概要 ●

- ・ 給付期間：最長2年間 支給開始時期は2022年10月または2023年4月
- ・ 給付月額：学部学生 150,000円 / 大学院学生 180,000円（この他に学会出席補助金制度あり。）
- ・ 採用予定人数：全国で約15名

● 応募手順 ●

手順	内容	在学生	2022年10月および 2023年4月の新入生
1	管理番号の取得 (国際課へメール※)	2022年7月25日(月) 17時	2022年8月5日(金) 17時
2	HPフォーム入力送信 (自分で送信)	2022年7月25日(月)	2022年8月15日(月)
3	書類提出 (国際課へメール※)	2022年7月26日(火) 17時	2022年9月6日(火) 17時

※1：国際課へメールする際には下記のとおりお問い合わせください。

メール送信先：gryugaku@iwate-u.ac.jp 件名：佐藤陽国際奨学財団奨学生の応募について

## ● 必要書類●

次の書類を全て国際課までメールに添付して提出してください。

原本は、結果発表まで大事に保管してください。

※以下の文章で「学部生」「大学院生」というのは、2021年10月時点での学年を指します。

ただし2022年4月に入学する予定の人は2022年4月時点での学年で考えてください。

- (1) 奨学生申込書（様式1、日本語、自筆）
- (2) 履歴書1・2（様式2、日本語、自筆）
- (3) エッセイ（様式3、所定用紙で2枚、日本語、自筆）
- (4) 推薦状（様式4、指導教員から国際課へPDFで送付、英語の場合は日本語訳を添付）
- (5) 評価書（様式5、指導教員から国際課へPDFで送付、英語の場合は日本語訳を添付、博士課程の学生のみ）
- (6) 学業成績表
  - 学部生：次の3点全て
    - ① 岩手大学の学部1年生から直近まで全ての学業成績表
    - ② 高校在籍期間中すべての学業成績表（日本語でない場合は日本語訳をつけること）
    - ③ 日本留学試験の成績通知書（受験していなければ不要）
  - 大学院生
    - ・学部1年生から直近まで全ての学業成績表（日本語でない場合は日本語訳をつけること）
- (7) 在学証明書
  - ※ 新入・新編入の場合は岩手大学の「合格証明書」もしくは「合格通知」のコピー
- (8) 研究実績（大学院学生のみ、資料Ⅱ参照、A4サイズ、日本語、ワープロ可）
- (9) 研究計画書（大学院学生のみ、資料Ⅱ参照、A4サイズ1枚、日本語、ワープロ可）
- (10) パスポートのコピー（顔写真があるページ）
- (11) 在留カードのコピー

様式は、財団ホームページからダウンロードできます。

[https://sisf.or.jp/ja/about\\_application/](https://sisf.or.jp/ja/about_application/)

